

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 【42点】

1 シャベって、しゃべって、しゃべりまくると語彙が増える——それが私の考えです。言葉は、仕入れたらすぐに出すことが大切です。新しい言葉を覚えても、使わないとすぐに忘れてしまうからです。

2 人間の記憶は、短時間で急速に失われます。何かを覚えても、1時間後には半分以上、1日後には7割以上忘れるといわれています。しかし、覚えたことを短期間のうちに繰り返し復習すると、忘れにくくなるのがわかっています。

3 覚えた言葉をすぐに使うことで、記憶に定着し、日常的に活用できる自分の言葉になります。言葉を仕入れても使わなければ、引き出しの奥深くしまい込まれた状態になり、すぐには取り出せなくなります。それでは使いものになりません。

4 インプットした言葉は、どんどんアウトプットすることが大事です。アウトプットには、「話す」「書く」という二通りの方法がありますが、比較的ラクなのは、話すほうです。新しく仕入れた言葉を積極的に使って、どんどんしゃべってみましょう。

5 私は中学時代、仲よくなったA君と、とにかくよくしゃべっていました。たとえば、テレビドラマや映画を見ると、翌日にはそのあらすじをA君に話さずにはいられません。体育の授業中に、A君と並んで体操しながら、ヒッチコック監督の「レベッカ」というサスペンス映画のストーリーをずっと話しつつづけていました。

6 そんなふうに、映画やドラマ、小説などのあらすじを話すのは、とてもいいトレーニングになります。言葉をたくさん話すことで語彙が増えるだけでなく、筋道を立てて話そうとすることで文脈力が鍛えら

それがインターネット上で勝手に広まっていくわけですから、あらためて怖いものだと感じました。

14 言葉は、前後の文章や言葉の流れのなかではじめて意味をもつものです。文脈から離れた言葉は意味が変わってしまい、誤解を生むことがあります。

15 みなさんは、言葉を使って友達との人間関係を築いています。しかし、メールやLINE(ライン)、SNS(ソーシャル・ネットワーク)キング・サービス)などで言葉の扱い方を間違えると、友達関係が壊れることもあります。

16 大人でも、不用意な書き込みをしたためにSNSやブログが炎上したり、立場が危うくなったりすることがあります。

17 言葉は、薬にも毒にもなる非常に怖いものです。人を癒す力も、人を傷つける力もあります。使い方をよく守り、取り扱いは十分に注意しなければなりません。言葉の使い方を身につけることは、国語の成績を上げる以上に、生きていくうえで必要不可欠なことなのです。

【齋藤 孝】「国語は語彙力！ 受験に勝つ言葉の増やし方」より

① 線①「しゃべって、しゃべって、しゃべりまくると語彙が増える」とありますが、それはなぜですか。それについて説明した次の□にあてはまる言葉を文中から十七字で探して、初めの五字をぬき出しなさい。 (8点)

・言葉は使わないと、□となってしまう、取り出しにくくなるから。

② 線②「言葉は、仕入れたらすぐに出すことが大切です」とありますが、仕入れた言葉の出し方としてどのような方法があげられていますか。最もふさわしい言葉を文中から十七字で探して、初めの六字をぬき出しなさい。「」も字数にふくむ。 (8点)

7 文脈とは、言葉の意味のつながりのことで、それを理解する力が文脈力です。言葉は、あくまでも文脈のなかでとらえるべきもので、文脈から切り離すと意味が変わる場合があります。つながりを無視して、言葉を一部分だけ切り取ることはとても危険です。

8 A「あなたが、がんばって友達を喜ばせることをしたとき、その友達が嬉しそうにお礼を言い、「お前はバカだな」と言ったとします。でも、それは、「こんなことまでしてくれるなんて、お前はいいやつだな」という意味だと理解できます。

9 B「メールでいきなり「お前はバカだな」というひと言だけを送られてきたら、「せっかくなきゃってあげたのに、ひどいことを言われた」と気分が悪くなりますね。

10 先日、インターネットのニュースを見ていたら、文学賞を受賞した若手作家について、あるベテラン作家が「自分がその文学賞の選考委員だったら落としていた」と発言したという記事が目に入りました。

11 いかにも先輩が後輩をいびっているニュアンスの、意地悪な発言です。私はそのベテラン作家にお会いしたことがあり、とてもそんなことを言う人だとは思えなかったもので、おかしいと感じました。

12 その記事に対する一般投稿者のコメントを読み進めていくと、どうやらその発言はテレビ番組のなかで出たもので、若い作家がすでに売れっ子であることを引き合いに、冗談として話したことの一部分らしいとわかりました。

13 実際、その番組で話していたときは笑いが起こっていたようなのに、ひと言だけを切り取ると、じつに冷ややかな言葉になります。しかも、

③ A・Bにあてはまる言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。 (8点)

ア Aなぜなら Bつまり イ Aあるいは Bむしろ
ウ Aそのため Bまた エ Aたとえば Bところが

④ 線③「ひと言だけを切り取ると、じつに冷ややかな言葉になります」とありますが、なぜこのようなことが起こったのですか。「文脈」という言葉を使って、「言葉はくから。」という形で理由を書きなさい。 (10点)

⑤ 本文中の段落のつながりを説明したものととして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。 (8点)

ア ③段落では、②段落で紹介された一般的な考えに対する、筆者の反論が述べられている。
イ ⑤段落では、④段落で述べられた内容に関する筆者の体験が、紹介されている。
ウ ⑦段落では、⑥段落までに述べられている筆者の考えとは異なる、世の中にひろがる一般論が紹介されている。
エ ⑪段落では、⑩段落で紹介されている筆者の体験が特別なものではないことが、具体例を挙げて述べられている。

(5)	(4)	(2)	(1)
		(3)	

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【58点】

① このクラス、グサイ。おもしろくない。

休み時間、美音がわたしの前のよっちゃんの席に座って、こつちを見て頬杖をついている。今日もいい天気だ。

② 「なんか、ばらばらって感じがしない？」

「そうかな」

「そうだよっ！」

美音がわたしの机を叩く。ふと見ると、よっちゃんが横に立っていた。トイレから戻ったのだろう。よっちゃんはじつと自分の席を見つめている。そこには美音が座っている。

「ちょっとぐらいい座っててもいいでしょ？」

美音が上目遣いでよっちゃんに言った。よっちゃんは、

「本を読みたいからどいてほしい」

と答えた。美音は一瞬驚いたような顔をして、それから [] を吊り上げた。

「ケチ！」

ひとこと言って、美音は廊下側の自分の席に戻っていった。よっちゃんは、まったく動じない様子で、さっそく文庫本を広げて読んでいる。

「その本、おもしろい？」

顔を突き出して聞いてみる。

「ふっつ」

そう言って、すぐに本に視線を戻した。

美音に目をやる。美音は机に突っ伏している。泣いているわけではないだろう。どちらかというと、むかついているように思える。まさかよっちゃんに、あんなふうに言われるとは思っていなかったのだ。でも、美音が怒るといのはちよつと違うと思う。よっちゃんはべつに悪くない。

五年三組はなんていうのか、これまでのクラスとは雰囲気が違う。特別な存在で目立っていた。もちろん今だってそうだけど、五年三組はちよつとばかり勝手が違うらしい。所在無げな美音は、最近なんだか怒りっぽい。

美音に視線を戻すと、いつのまにか四葉ちゃんが美音の隣に立っていた。二人でなにやら話をしているようだ。

⑤ 「へえ…」

思わずつぶやいて、二人の様子を眺める。めずらしいこともあるものだと思っただ。

藤原四葉ちゃんとは五年生になって、はじめて同じクラスになった。四葉ちゃんはとてもおとなしい女の子で、あまり他の人と話しているところを見たことがない。授業で指されればちゃんと声を出して答えるけれど、普段はたいいてい一人でいて、クラス全体を見回してにこにこしているだけだ。不思議ちゃん、と呼ばれているのを聞いたこともある。チャイムが鳴った。四葉ちゃんが笑顔で席に戻る。美音の表情はわからなかったけれど、背筋がしゃんと伸びていた。

(柳月 美智子「つながりの蔵」より)

□(1) 線①「このクラス」とありますが、「わたし」には、新しいクラスのなかの美音はどのように見えるのですか。それについて説明した次の文の [] にはあてはまる言葉を、文中から九字で探して初めの五字をぬき出しなさい。(8点)

□(2) 線②「ばらばらって感じ」とありますが、美音がこのように感じるの、五年三組の女子がどうい特徴をもっているからですか。次の文の [] にはあてはまる言葉を、文中から三十字で探して初めの五字をぬき出しなさい。(や、も字数にふくむ)。(8点)

・五年三組の女子たちは [] という特徴。

に女子たち。特定の誰かとつるむ子が少なくて、ほとんどグループ化していない。

前の席のよっちゃんは本好きだし、ゆんこはずっと漫画を描いているし、ひーちゃんは休み時間ともなれば男子に交じってサッカーをしている。30 礼子と友美はお菓子のレシビ作りに余念がないし、真帆や桐子たちはネイルやファッションのことで忙しい。美音もファッションが好きだから、真帆たちと一緒にいれたいのにも思うけれど、去年まで対立していたグループなので、そう簡単にはいかないらしい。

わたしは特にこれといった趣味はないけれど、とにかくぼうっとして35 いるのが好きだ。窓から見える遠くの景色や、空や木を眺めていると、あつという間に時間は過ぎていく。

わたしも美音と同じように、四年生のときに仲がよかったみんなはそろって一組になってしまつて、一人あぶれたくちだ。クラス発表のときは落ち込んだけれど、一ヶ月が経った今、やけにしつくりきているとい30 うか、妙な居心地のよさを感じている。

クラスメイトたちそれぞれが、一人で満ち足りている感じだから、誰かと一緒にいなければとあせる気持ちはなくて、とっても楽ちんなのだ。一人で過ごすことに、まったく引け目を感じなくていい。かといって仲が悪いというわけではなく、特定じゃない誰と一緒にいてもたのしく過35 ごせる。けれど、美音だけははまだ落ち着かない様子で、少し気の毒になる。

美音とは幼なじみだ。保育園からずっと一緒。一、二年のクラスも、三、四年のクラスも同じだった。一、二年のときまではよく一緒に遊んでいたけれど、三年生になった頃から遊ばなくなった。美音には気の合う30 友達が大勢できたし、わたしとは、おもしろいと感ることが変わっていった。

美音は顔もかわいいし、ミニバスもうまいし、いつもクラスを中心に

□(3) [] にはあてはまる言葉として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。(8点)

ア ロ イ 鼻 ウ 目 エ 耳

□(4) 線③「妙な居心地のよさ」とありますが、「わたし」がクラスに対して居心地のよさを感じているのはなぜですか。それについて説明した次の文の [] にはあてはまる内容を、「あせる気持ち」「引け目」という言葉を使って書きなさい。(10点)

・クラスメイトの一人一人が [] から。

□(5) 線④「最近」と同じ構成となる熟語を次の中から選び、記号で答えなさい。(8点)

ア 読書 イ 国立 ウ 勝負 エ 特大

□(6) 線⑤「へえ…」とありますが、このときの「わたし」の気持ちとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。(8点)

ア 驚き イ あきらめ ウ 悲しみ エ 怒り

□(7) 線X「すぐに」が修飾している言葉を本文中からぬき出しなさい。(8点)

(5)	(4)	(3)	(1)
			(2)
(6)			
(7)			